

令和 5 年 6 月 16 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2022

課題番号：17K02105

研究課題名(和文) 生物多様性保全に関わる国際認定制度の横断的分析：国際-現場連携の課題と自治体戦略

研究課題名(英文) Are heritage designations by the UN effective for biodiversity conservation at local level? Challenges for multi-scale collaboration and analysis of strategy by municipalities

研究代表者

香坂 玲 (Kohsaka, Ryo)

東京大学・大学院農学生命科学研究科(農学部)・教授

研究者番号：50509338

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本課題では、国際的認定地域における観光振興と生物多様性保全の戦略の相克と両立について分析した。国際機関(UNESCO, FAO等)と国内自治体の公的文章の比較・検証を通じ、地元の期待と認定機関の目的との齟齬という観点から課題を明らかにした。認定の経緯・活用実態(議会のテキスト分析)、農林産品(特に非木材林産物)との相乗効果(流通・地理的表示の保護[GI]登録)、あるいは国内の森林環境譲与税の活用を分析し、国際共著論文(Ecological Indicator, Forest Ecology and Management, Journal of Rural Studies等)として発表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

単独サイトでの分析だけではなく、社会ネットワーク分析の手法を活用した地域間比較の解析・研究を行い、国内の複数個所の比較検証を実施した。DMOや広域連携の関係組織の課題にも着目した点、認定や議会の議事録などのテキストマイニングといった定量的分析を加えた点などには先行性と独自性があり、行政での実務への示唆と社会的意義もあった。結果はIPBESの報告書執筆責任者、外部評価パネル委員、生物多様性条約締約国会議(CBD)政府代表団、指標の技術会合専門家(AHTEG)、EuroMAB分科会座長として国際的に寄与したほか、日本学術会議の農学委員会林学分科会での活動、自治体向け雑誌等への寄稿を通して還元した。

研究成果の概要(英文)：We analyzed conflicts and compatibility between tourism promotion and biodiversity conservation strategies in internationally recognized areas. Through the comparisons and analysis of official records local governments and municipalities ((including official assemblies and diets), and documents international organizations (UNESCO, FAO, etc.), discrepancies were identified between local expectations and the goals and purposes of international systems and accreditation bodies. In concrete, we analyzed the history of certification and actual utilization based text analysis, synergistic effects with agricultural and forestry products (especially non-timber forest products), or synergies of product certifications (such as geographical indication [GI]), or local utilization of Forest Environment Transfer Tax (FETT). Results are published as international journals (i.e., Ecological Indicator, Forest Ecology and Management, Journal of Rural Studies, etc.).

研究分野：国際環境・自然資源マネジメント学

キーワード：世界農業遺産 地理的表示 地域団体商標 地域認定 産品認証 伝統的産品

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

生物多様性の重要性を伝え、保全・保護を促しつつ持続可能な発展を目指す取組みとして、「ユネスコ人間と生物圏(MAB)」計画の一環である「生物圏保存地域(Biosphere Reserves: BR)や「世界自然遺産」といった認定制度が国際的に展開されている。日本国内で認定された自治体は、認定を環境活動の盛り上がりや観光地としての差別化、地域ブランドの構築に活用し、時には複数の「認定」を戦略的に使い分けている。例えば、世界自然遺産に登録されている屋久島町は、生物圏保存地域(国内呼称:ユネスコエコパーク)では「文化や農業の営み」を強調している。また、日本政府(環境省)は、国際的な認定制度の活用と並行して、生物多様性を保全する場として、外国人観光客の誘致強化に向けたブランド化の事業として国立公園等を国際的に発信し、魅力的な観光資源とテーマ性の観点から位置づけた経緯がある。

国際的な認定制度は生物多様性の「可視化」にはある程度成功しつつある一方で、保全と利用の相克、認定制度の目的と現場レベルの期待との齟齬などの問題を抱えている。また、世界農業遺産登録は誘客数や農産品の価格向上には反映されていない(Kohsaka et al, 2019)、広域連携では目的地と通過地で自治体間の温度差が存在する(Kohsaka & Matsuoka, 2015)といったことも顕在化しており、地元—認定機関の齟齬の調整、認定の内部化(生物多様性の価値認識、自律的改善)促進、広域連携の障害、エリア内の不均衡の解消が課題として見出された。認定地域選定、国立公園のブランド化、地方創生回廊等のトップダウンによる施策と合わせ、『生物多様性の現場』である認定地域(サイト)で何が組織的な問題かを理解し、地方自治体の目線で課題解消する必要がある。従って、観光客を含む関係者間で生物多様性の価値の理解を進めつつ認定制度を活用した持続的な地域運営を行っていくうえで、上記 ~ は喫緊の課題であり、本研究で取り組んだ。既存研究では、白神山地での県同士の対立、屋久島の過剰利用の事例分析はあるが、単一地域や同一制度内の分析に偏っており、複数の制度の横断的分析は限定的であった。しかし、認定制度を活用した災害復興と自然や農林業を活用した観光の効果の分析は、長期的視点から、認定制度を横断的に考察する必要がある。そこで本研究は、東北と北陸で生物多様性に関わる制度(生物圏保存地域[BR]、世界自然遺産、世界農業遺産[GIAHS]、ジオパーク[GEO]、国立公園)を横断的に取り上げた。本研究は、代表者の科研(観光 H26-28[代表])、森林学会(H26 企画)、糸魚川市研究助成、農林水産省の委員会(地理的表示 H25 ~ [座長])、国連生物多様性条約での実務経験から着想を得たものである。

2. 研究の目的

本研究では以下三項目の目的を達成すべく調査分析に取り組んだ。

(1)各制度の公的文書と自治体公的文書の比較により、現場と認定機関との間のギャップを定量的にテキストマイニングで特定した。認定機関(国、国際機関)と自治体へのヒアリングで定量データを補完し、定性的な言説分析を組み合わせ、利害集団の力学と意思決定の因果や時系列の動向を整理した。現場レベルでの問題(コストや担い手)に対する国際認定の関係者の認識と、国際・国レベルの課題(森里海連環と生物多様性、インバウンド誘客、災害復興)に対する現場レベルの受容を比較した。

(2)事業の持続性確保に向け、現場が保全と利用の不断の改善の仕組みをどう内部化し構築するか、認定側の継続審査や取消しなどの仕組みが有効に働くかという双方向の分析を実施した。具体的には山梨県を含め北陸・東北の各サイトにおける公的な広報資料をテキストマイニングによって定量的に分析した。

(3)単独自治体ではリーダーシップや意志決定を、広域連携では問題意識の共有や議論の深化の方策を、ヒアリングとネットワークの分析で明らかにした。広域連携の場合、予算や人員で有利な反面、各自治体の温度差が意思決定を停滞させる面もあり(Kohsaka & Matsuoka, 2015)、DMO (Destination Management Organization) や広域連携の関係組織の齟齬等(Uchiyama & Kohsaka, 2021)の課題も特定し、地域戦略における示唆を得た。

3．研究の方法

生物多様性に関わる国際認定制度を取り上げ、北陸、東北の関係自治体、認定機関等を対象とした調査・分析を行った。まず、認定制度における生物多様性、農林業等の位置付けについて、国際―現場レベルでの差異と課題を調査した。同時に認定地域内の関係主体に対する調査を実施し、主体間の意識ギャップについても分析した。続いて、各登録制度における広域連携と単独自治体による運営実態の比較と課題の抽出を行った。以上の成果を基に、地域戦略の構築、課題解決に効果的な制度活用モデルについて示唆を得た。

代表者は、生物多様性条約など国連での実務経験と教育研究歴を有し、ユネスコや FAO を初めとした海外の国際認定に関わる多様な組織や人材とのネットワークを有する。また、国内調査地として北陸の能登、佐渡等を対象として研究を遂行し、対象地では既にフィールド調査を継続的に実施してきた蓄積があり、これまでに築いた行政・農業団体・NPO・農家等との連携体制を基に本研究を実施した。東北等のサイトに関しても、国立公園、ジオパークの協議会といった実務者・研究者から協力を得て調査分析を行った。また連携研究者で只見、綾の BR 支援委員会構成員の酒井暁子教授(横浜国立大学)から、BR 等の制度設計について情報提供を受けた。

4．研究成果

以下では、地域認定の活用、認定の内部化に向けた方法論、成果の発信状況について述べる。

(1) 地域認定の活用：国際 現場及び地域内でのギャップ、関係者の連携、地域戦略への示唆

本申請の主対象である世界農業遺産、エコパーク、ジオパーク、国立公園等の異なる認定を活用した観光振興や生物多様性保全の戦略について、国際機関を含む地域認定の運営主体との連携、住民や観光事業者等から成る地元のアクターと連携した取り組みについて分析するための基盤的情報を収集した。具体的には、認定地域の自治体等が運営している協議会の広報資料や、協議会に参加するセクターの多様度等の情報を収集し、各認定地域の特徴を把握するための基盤情報を整備した。具体的な認定地域の分析では、地域認定の活用をめぐる地域アクターの連携構造、環境・観光・農業といったセクター別の連携構造の地域毎の特性を解明すべく、石川県能登地域・宮城県大崎地域・山形県鶴岡地域等の地域認定の活用に関わる民間事業者と行政等の組織を対象として、各地域における連携状況について調査等を行い、社会ネットワーク分析の手法を基に解析、地域間比較研究を行い、論文等において成果発表をした(香坂・内山 2020)。

また、世界農業遺産、ジオパーク等を活用した観光振興、生物多様性保全の各地域の戦略に関する資料、ヒアリング調査結果の分析も行った。結果、地域認定を活用する現場側の戦略策定に関して、認定の内部化、合意形成を進めるうえでの地域や認定地域の資源としての産品を統合的

に共有、発信する「ストーリー」の活用等について示唆を得た (Kohsaka et al. 2019)。

世界農業遺産認定地域の自治体戦略の定量的分析については、能登地域の伝統的産品への地域認定の影響に関する解析、比較対象地域として国東地域での調査等を行った(Kohsaka et al. 2021; Miyake and Kohsaka 2022)。結果、両地域について伝統的な産品と景観を活用した観光戦略について明らかにした。国東地域では特に荒廃が進む傾向にある里山における農地を林地に転換し、しいたけや木炭の生産地として活用することにより、伝統的な産品の持続的生産や体験型観光での活用等が可能である点等を解明した。なお、同地域を対象とした研究は、大分県の調査研究助成事業に採択された。気候

変動適応の観点を含めた調査分析結果は国際学術誌に掲載されている(Miyake & Kohsaka, 2022)。能登地域の伝統的産品についての解析では、産品の最新の購買データを基に分析を行ったところ、地域認定自体の産品の購入量や価格に対する影響は限定的である可能性が示唆された。

(2)認定の内部化に向けた方法論：地域認定と産品認証の相乗的活用

社会的実践・実装と研究の相乗効果も進みつつある。観光振興、地域運営において、地域認定と相乗的に活用可能な産品認証の活用状況について、東北地域を中心に自治体と農協、漁協等関連主体より、地域認定、産品認証を活用した取り組みの経緯等の情報を収集した。特に地理的表示に関わる産品、生物多様性保全を意図する地域認定のコンセプトは、景観や地域社会の風土を通じて、農林水産品とも密接に関わっており、各地の農林水産品は地域のブランド化、観光振興を進めるうえで、地域のストーリーを構築する際に活用可能な地域資源として位置付けられる(香坂ら 2016; Uchiyama et al. 2017)。地域認定と産品認証を活用する方策を考察するために必要な認定・認証の認知度に関する調査分析も行った。特に地理的表示については、文化財的に地域で継承される産品も登録されており、伝統知の継承にも有用である(香坂ら 2018; 香坂 2019; Tashiro et al. 2019)。

(3)成果発信について

異なる方法論・対象地の論文を欧州・韓国・タイ等における国際学会で発表し、招待講演も行うなど、発表や執筆の機会を通して若手を育成しつつ、成果を発信している。韓国の国際学会では、関連するセッションでの招待講演に加え、セッション座長も担当した。2022年オーストラリア開催での北米・欧州のMAB関連会合(EuroMAB Conference 2022)では、部会の共同座長を務め、実務担当者と国際比較と分析を行ない(Kohsaka & Suzuki 2022)、現在も研究交流を続けている。また、生物多様性条約の昆明・モンリオール生物多様性枠組の指標の技術会合専門家(AHTEG)、IPBESのアジア・オセアニア地域評価報告書第1章の統括執筆責任者(CLA)、外部評価パネル委員として国際的にも成果を還元した。国際機関の次元で地球規模での科学的成果のレビューと政策科学のインターフェイスの課題を分析し、成果はEcological Indicatorsに国際共著論文としても発表された(Tomoi, et al. 2022)。

国内では、環境省(中部地方)の気候変動適応策事業の分科会の座長あるいは次期生物多様性国家戦略研究会メンバーとして活動し、自治体関係者向けの適応策、生物多様性の戦略について定

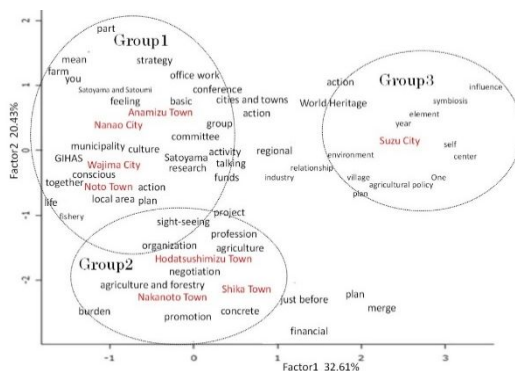


図1 能登地域の自治体担当者へのヒアリングデータのテキスト解析(対応分析)の結果:分析の結果、世界農業遺産(GIAHS)について比較的頻繁に言及のあったグループ1、平均的なグループ2、世界遺産等にも言及があるグループ3(珠洲市のみ)が特定された(Kohsaka et al. 2019)

量的分析を含めて、「地方議会人」,「月刊自治研」,季刊「しま」日本 LCA 学会誌の各誌に市町村のレベルの生物多様性の地域戦略の動向を発表し、自治体向けの招待講演も行った。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現地調査をオンライン調査に切り替える等の対応が必要であったが、当初の目的を達成すべく行政、事業者等からフィードバックを得て地域戦略への示唆について発信を進めることができた。

なお、地域認定制度の活用に関わる都市・農山村連携の観点からは、森林環境譲与税を活用した取り組みについて全国の都道府県を対象に調査を行い、その結果を取りまとめた論文(香坂・内山 2021, Kohsaka & Uchiyama 2022)及び都市・農山村連携の具体例に関する短報(香坂ら 2020)も発表した。その成果は、連携会員(環境学)を務める日本学術会議の農学委員会林学分科会における議論と発信にも還元された。

<引用文献>

Tomoi, H., Ohsawa, T., Quevedo, JMD Kohsaka R. (2022) Is “Common But Differentiated Responsibilities” principle applicable in biodiversity?—Towards approaches for shared responsibilities based on updated capabilities and data. *Ecological Indicators* 145, 109628

Kohsaka R., Suzuki Y. (2022) Overview of Biosphere Reserve in Japan. Products and Services 部会 Invited Presentation EuroMAB Conference 2022

Kohsaka R. & Uchiyama, Y. (2022) Use of the Forest Environment Transfer Tax for forest data development and exchange: evidence from all 47 prefectures in Japan *Forest Science and Technology* 18 (4), 201-212

Miyake, Y., & Kohsaka, R. (2022). Climate Change Adaptation in Non-Timber Forest Products: How Resilient are Small Shiitake Producers? *Journal of Sustainable Forestry*, 1-25.

Kohsaka, R., Ito, K., Miyake, Y., & Uchiyama, Y. (2021). Cultural ecosystem services from the afforestation of rice terraces and farmland: Emerging services as an alternative to monoculturalization. *Forest Ecology and Management*, 497, 119481.

Uchiyama, Y., & Kohsaka, R. (2021). Strategies of Destination Management Organizations in Urban and Rural Areas: Using Text Analysis Method for SWOT Descriptions at Meta-level. *International Journal of Hospitality & Tourism Administration*, 1-19.

香坂玲, 内山愉太, (2020). 石川県能登地域における社会組織の連携状況 複数の自治体が含まれる世界農業遺産認定地域における調査分析, 都市住民プロジェクト研究資料 第3号, 農林水産政策研究所, 24-37.

Kohsaka, R., Matsuoka, H., Uchiyama, Y., & Rogel, M. (2019). Regional management and biodiversity conservation in GIAHS: text analysis of municipal strategy and tourism management. *Ecosystem Health and Sustainability*, 5(1), 124-132.

Tashiro, A., Uchiyama, Y., & Kohsaka, R. (2019). Impact of Geographical Indication schemes on traditional knowledge in changing agricultural landscapes: An empirical analysis from Japan. *Journal of Rural Studies*, 68, 46-53.

香坂玲, 内山愉太, 田代藍, (2018). 過疎化・人口減の縮小社会における伝統的生態学的知識の喪失とイノベーション, 日本健康学会誌, 84(6), 214-223.

Uchiyama, Y., Tanaka, Y., Matsuoka, H., & Kohsaka, R. (2017). Expectations of residents and tourists of agriculture-related certification systems: analysis of public perceptions. *Journal of Ethnic Foods*, 4(2), 110-117.

Kohsaka, R., & Matsuoka, H. (2015). Analysis of Japanese municipalities with Geopark, MAB, and GIAHS certification: quantitative approach to official records with text-mining methods. *SAGE Open*, 5(4), 1-10.

香坂玲(編著)『縮小する日本社会 危機後の新しい豊かさを求めて』, 勉誠社, 264pp, 2019年. 内山愉太(2章), 徳山美津恵(5章), 香坂玲(6章)分担

香坂玲, 藤平祥孝, 内山愉太, 「遺産に関わる国際認定制度は産地にメリットがあるのか」, 香坂ら(編), 『人としくみの農業』, 追手門学院大学出版会, pp.1-24, 2016年.

香坂玲, 内山愉太, (2021). 森林環境譲与税を契機とした都道府県による市町村支援の方向性の分析 使途整理・情報交換・組織設置に関する全国の比較から. *日本森林学会誌*, 103(2), 134-144.

香坂玲, 大澤太郎, 内山愉太. (2020). 森林環境譲与税を介した都市-農山村連携 埼玉県秩父市と東京都豊島区の事例から. *日本森林学会誌*, 102(2), 127-132.

香坂 玲, 内山 愉太(2022) 島嶼部の生物多様性戦略：LCAの活用に向けて

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計87件（うち査読付論文 64件 / うち国際共著 12件 / うちオープンアクセス 21件）

1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Uchiyama Yuta, Quevedo Jay Mar D., Harding Diana, Kohsaka Ryo	4. 巻 50
2. 論文標題 Land Use Changes Assessment using a triangulated framework: Perception Interviews, Land-Use/Land Cover Observation, and Spatial Planning Analysis in Tanjung Batu and Derawan Island, Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Human Ecology	6. 最初と最後の頁 397 ~ 397
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10745-022-00313-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Miyake Yoshitaka, Kohsaka Ryo	4. 巻 38
2. 論文標題 Discourse of quality and place in geographical indications: Applying convention theory to Japanese tea	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Food Reviews International	6. 最初と最後の頁 1~22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/87559129.2022.2029882	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Uchiyama Yuta, Quevedo Jay Mar D., Kohsaka Ryo	4. 巻 203
2. 論文標題 Local awareness as an instrument for management and conservation of seagrass ecosystem: Case of Berau Regency, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105451 ~ 105451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105451	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 128
2. 論文標題 A blue carbon ecosystems qualitative assessment applying the DPSIR framework: Local perspective of global benefits and contributions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Marine Policy	6. 最初と最後の頁 104462 ~ 104462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.marpol.2021.104462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 45
2. 論文標題 Linking blue carbon ecosystems with sustainable tourism: Dichotomy of urban-rural local perspectives from the Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Regional Studies in Marine Science	6. 最初と最後の頁 101820 ~ 101820
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rsma.2021.101820	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 51
2. 論文標題 Community perceptions of long-term mangrove cover changes and its drivers from a typhoon-prone province in the Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ambio	6. 最初と最後の頁 972 ~ 989
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13280-021-01608-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 63
2. 論文標題 Local perceptions of blue carbon ecosystem infrastructures in Panay Island, Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 227 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2021.1888558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Lukman Kevin Muhamad, Kohsaka Ryo	4. 巻 49
2. 論文標題 Are Municipalities Ready for Integrating Blue Carbon Concepts?: Content Analysis of Coastal Management Plans in the Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Coastal Management	6. 最初と最後の頁 334 ~ 355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/08920753.2021.1928455	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Yuya, Kohsaka Ryo	4. 巻 27
2. 論文標題 Is economic valuation utilized in policy-making? Monetary evaluation of forest multi-functions at national and sub-national levels in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2022.2052567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 22
2. 論文標題 Strategies of Destination Management Organizations in Urban and Rural Areas: Using Text Analysis Method for SWOT Descriptions at Meta-level	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hospitality & Tourism Administration	6. 最初と最後の頁 1~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15256480.2021.1953422	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲、内山愉太	4. 巻 103
2. 論文標題 森林環境譲与税を契機とした都道府県による市町村支援の方向性の分析 用途整理・情報交換・組織設置に関する全国の比較から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 134~144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.103.134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 1647
2. 論文標題 市町村の森林環境譲与税活用の動向ー生産・利用と環境保全の両立とその合意形成に向けた五市区の模索ー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山林	6. 最初と最後の頁 62~70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 954
2. 論文標題 森林情報整備の国内動向：国、都道府県、市町村の有機的連携に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 森林技術	6. 最初と最後の頁 20～23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 74
2. 論文標題 書評 中山恵子著 「わが国の森林環境税：恒久的な水源涵養の保全に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 林業経済	6. 最初と最後の頁 18～21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 617
2. 論文標題 2030年に向けたEUの新森林戦略：近自然林業、気候変動、経済のバランス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 森林組合	6. 最初と最後の頁 3～10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 956
2. 論文標題 2030年に向けたEUの新森林戦略：近自然林業、気候変動、経済のバランス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 森林技術	6. 最初と最後の頁 24～27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 67
2. 論文標題 生物多様性の地域戦略を離島振興に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 季刊 しま	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 18
2. 論文標題 生物多様性をめぐる国際動向 国際条約 (CBD), 規格・産業 (ISO・TNFD), 科学政策対話 (IPBES) の議論から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本知財学会誌	6. 最初と最後の頁 42~45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 157
2. 論文標題 【講演記録】愛知・名古屋から考える農林業のテロワール (風土)・土地利用: 生物多様性条約・ポスト愛知目標を見据えて SDGs へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境	6. 最初と最後の頁 25~43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Ito Koji, Miyake Yoshitaka, Uchiyama Yuta	4. 巻 497
2. 論文標題 Cultural ecosystem services from the afforestation of rice terraces and farmland: Emerging services as an alternative to monoculturalization	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Forest Ecology and Management	6. 最初と最後の頁 119481~119481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.foreco.2021.119481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Miyake Yoshitaka	4. 巻 88
2. 論文標題 The politics of quality and geographic indications for non-timber forest products: Applying Convention Theory beyond food contexts	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Rural Studies	6. 最初と最後の頁 28 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jrurstud.2021.10.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Uchiyama Yuta	4. 巻 14
2. 論文標題 Status and Trends in Forest Environment Transfer Tax and Information Interface between Prefectures and Municipalities: Multi-Level Governance of Forest Management in 47 Japanese Prefectures	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1791 ~ 1791
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su14031791	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 213
2. 論文標題 Sustainable aquaculture to ensure coexistence: Perceptions of aquaculture farmers in East Kalimantan, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105839 ~ 105839
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2021.105839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 128
2. 論文標題 A blue carbon ecosystems qualitative assessment applying the DPSIR framework: Local perspective of global benefits and contributions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Marine Policy	6. 最初と最後の頁 104462 ~ 104462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.marpol.2021.104462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 1
2. 論文標題 Local perceptions of blue carbon ecosystem infrastructures in Panay Island, Philippines	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 1~21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2021.1888558	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuyuki Tomiyoshi, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka	4. 巻 26(2)
2. 論文標題 Evaluating plant genetic diversity maintained by local farmers and residents: A comprehensive assessment of continuous vegetable cultivation and seed-saving activities on a regional scale in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The International Journal of Sociology of Agriculture and Food	6. 最初と最後の頁 111~142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.48416/ijaf.v26i2.433	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Muhamad Lukman Kevin, Kohsaka Ryo	4. 巻 13
2. 論文標題 How Blue Carbon Ecosystems Are Perceived by Local Communities in the Coral Triangle: Comparative and Empirical Examinations in the Philippines and Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 127~127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13010127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Uchiyama Yuta, Quevedo Jay Mar D., Kohsaka Ryo	4. 巻 203
2. 論文標題 Local awareness as an instrument for management and conservation of seagrass ecosystem: Case of Berau Regency, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105451~105451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105451	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyake Yoshitaka, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 10
2. 論文標題 Status and trends of urban organic agricultural policy in Japan: the survey on ordinance designated cities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Organic Agriculture	6. 最初と最後の頁 497 ~ 508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13165-020-00311-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajima Shuichiro, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 25
2. 論文標題 Private forest landowners' awareness of forest boundaries: case study in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 299 ~ 307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2020.1777627	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 191
2. 論文標題 Perceptions of the seagrass ecosystems for the local communities of Eastern Samar, Philippines: Preliminary results and prospects of blue carbon services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105181 ~ 105181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 51(2)
2. 論文標題 SDGsを具現化するための生物多様性地域戦略, 理解から実行へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方議会人	6. 最初と最後の頁 12-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 62(735)
2. 論文標題 生物多様性地域戦略と自治体 ~ 次期国家戦略とローカルな実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自治研	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 内山愉太, 江原誠	4. 巻 35
2. 論文標題 生態系サービスと「自然がもたらすもの」(NCP)をめぐる人と自然の関係性: グローバルな科学政策インターフェースのとしてのIPBESを事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会と倫理	6. 最初と最後の頁 21 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 3/4(217)
2. 論文標題 生物多様性条約、COP10からの10年とこれからの地方自治体	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境と正義	6. 最初と最後の頁 24-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 56(9)
2. 論文標題 不確実な時代における科学と政治・政策の対話: 生物多様性・生態系サービスから考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 環境管理	6. 最初と最後の頁 40-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 102(4)
2. 論文標題 書評 水野祥子著 「エコロジーの世紀と植民地科学者:イギリス帝国・開発・環境」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 277 ~ 278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 129
2. 論文標題 レジリエンス 都市の復元力	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 City & Life	6. 最初と最後の頁 5-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kajima Shuichiro, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 12
2. 論文標題 Intellectual Property Strategies for Timber and Forest Products: The Case of Regional Collective Trademark Applications by Japanese Forestry Associations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1988 ~ 1988
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12051988	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 191
2. 論文標題 Perceptions of the seagrass ecosystems for the local communities of Eastern Samar, Philippines: Preliminary results and prospects of blue carbon services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ocean & Coastal Management	6. 最初と最後の頁 105181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ocecoaman.2020.105181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sotaro Inoue, Noriko Ito, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka	4. 巻 22
2. 論文標題 Sustainable Development Utilizing Local Agricultural Resources: A Network Analysis of Interorganizational Collaborations in Tsuruoka, Noto, and Aso in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Agricultural Economics	6. 最初と最後の頁 95 - 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上荘太郎, 伊藤紀子, 高橋克也, 市川容子, 香坂玲, 内山愉太	4. 巻 57(4)
2. 論文標題 地域振興における多様な組織の連携構造 - 鶴岡市における社会ネットワーク分析 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 19 - 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Stevance Anne-Sophie, Bridgewater Peter, Louafi Selim, King Nicholas, Beard T. Douglas, Van Jaarsveld Albert S., Ofir Zenda, Kohsaka Ryo, Jenderedijan Karen, Rosales Benites Marina, Mulongoy Kalemani Joseph, Chaudhari Kalpana Lalitkumar, Painter James, Meter Andrew	4. 巻 16
2. 論文標題 The 2019 review of IPBES and future priorities: reaching beyond assessment to enhance policy impact	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecosystems and People	6. 最初と最後の頁 70 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/26395916.2019.1702590	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Patrick Schroder, Alexander S. Antonarakis, Jana Brauer, Abu Conteh, Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Pablo Pacheco	4. 巻 386
2. 論文標題 SDG 12: Responsible Consumption and Production; Potential Benefits and Impacts on Forests and Livelihoods	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sustainable Development Goals: Their Impacts on Forests and People	6. 最初と最後の頁 386-418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Quevedo Jay Mar D., Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 25
2. 論文標題 Perceptions of local communities on mangrove forests, their services and management: implications for Eco-DRR and blue carbon management for Eastern Samar, Philippines	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2019.1696441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 106
2. 論文標題 Application of the City Biodiversity Index to populated cities in Japan: Influence of the social and ecological characteristics on indicator-based management	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecological Indicators	6. 最初と最後の頁 105420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ecolind.2019.05.051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lukman Kevin Muhamad, Quevedo Jay Mar D., Kakinuma Kaoru, Uchiyama Yuta, Kohsaka Ryo	4. 巻 24
2. 論文標題 Indonesia Provincial Spatial Plans on mangroves in era of decentralization: Application of content analysis to 27 provinces and "blue carbon" as overlooked components	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 341~348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13416979.2019.1679328	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Haruka Imai, Tohru Nakashizuka, Ryo Kohsaka	4. 巻 47
2. 論文標題 A Multi-Year Investigation of the Factors Underlying Decreasing Interactions of Children and Adults with Natural Environments in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Ecology	6. 最初と最後の頁 717-731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10745-019-00108-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲、大澤太郎、内山愉太	4. 巻 102
2. 論文標題 森林環境譲与税を介した都市 農山村連携：埼玉県秩父市と東京都豊島区の事例から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 ポスト2020目標と生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(IPBES)の役割	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Wildlife Forum 「野生生物と社会」学会	6. 最初と最後の頁 31-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲、内山愉太	4. 巻 1627
2. 論文標題 都道府県の森林環境譲与税導入の影響と市町村支援の方針に関する考察：四七都道府県を対象として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 山林	6. 最初と最後の頁 24-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲、内山愉太	4. 巻 101
2. 論文標題 林産物における地理的表示保護制度の正当性の構築：岩手木炭と浄法寺漆の伝統性と産地との結びつきの比較分析から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 242~245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.101.242	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 内山 愉太	4. 巻 101
2. 論文標題 森林環境譲与税の導入と都道府県への影響の分析：37府県の概況について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 246 ~ 252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.101.246	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kohsaka, Ai Tashiro, Marie Rogel, Yuta Uchiyama	4. 巻 -
2. 論文標題 Sustaining Diverse Knowledge Systems in SEPLs: Sharing Tacit Knowledge of Apiculture and Mushroom Production with Future Generations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sharing Ecosystem Services	6. 最初と最後の頁 117-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-13-8067-9_6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 梶間周一郎	4. 巻 101
2. 論文標題 林産物における地理的表示保護制度の意義と登録プロセスの分析 岩手木炭のケースから	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 128 - 133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.101.128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Matsuoka Hikaru, Uchiyama Yuta, Rogel Marie	4. 巻 5
2. 論文標題 Regional management and biodiversity conservation in GIAHS: text analysis of municipal strategy and tourism management	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecosystem Health and Sustainability	6. 最初と最後の頁 124 ~ 132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20964129.2019.1610336	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Doringer, S., Uchiyama, Y., Penker, M. and Kohsaka, R.	4. 巻 -
2. 論文標題 A meta-analysis of shrinking cities in Europe and Japan: Towards an integrative research agenda	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 European Planning Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09654313.2019.1604635	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tashiro, A., Uchiyama, Y., and Kohsaka, R.	4. 巻 68
2. 論文標題 Impact of Geographical Indication schemes on traditional knowledge in changing agricultural landscapes: An empirical analysis from Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Rural Studies	6. 最初と最後の頁 46-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jrurstud.2019.03.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka Ryo, Fujihira Yoshinori, Uchiyama Yuta	4. 巻 10
2. 論文標題 Biomimetics for business? Industry perceptions and patent application	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Science and Technology Policy Management	6. 最初と最後の頁 597 ~ 616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/jstpm-05-2018-0052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 内山愉太, 田代藍	4. 巻 84(6)
2. 論文標題 過疎化・人口減の縮小社会における伝統的生態学的知識の喪失とイノベーション	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本健康学会誌	6. 最初と最後の頁 214-223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3861/kenko.84.6_214	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai, H., Nakashizuka T., Kohsaka R.	4. 巻 4(8)
2. 論文標題 An Analysis of 15 Years of Trends in Children's Connection with Nature and Its Relationship with Residential Environment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ecosystem Health and Sustainability	6. 最初と最後の頁 177-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20964129.2018.1511225	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro,A., Uchiyama,Y., Kohsaka,R.	4. 巻 5(3)
2. 論文標題 Internal Geographical Indication (GI) processes and their effects: An evaluation framework for GI applicants in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 202-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2018.07.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka,R., Fujihira,Y., Uchiyama,Y., Kajima,S., Nomura,S., Ebinger,F.	4. 巻 60(4)
2. 論文標題 Public perception and expectations of biomimetics technology: Empirical survey of museum visitors in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Curator: The Museum Journal	6. 最初と最後の頁 427-444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 久慈淳一郎, 内山愉太, 松岡光, 香坂玲	4. 巻 3
2. 論文標題 日本企業の環境負荷軽減に対する取り組みの経年変化の考察に向けた先行研究レビュー ; 統合報告書に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 久留米大学ビジネス研究	6. 最初と最後の頁 45-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro,A., Uchiyama,Y., Kohsaka,R.	4. 巻 7(3)
2. 論文標題 Marine Circular Economy towards Post-Disaster Reconstruction for Sustainability: Experiences in a Small Coastal Town of Northeast Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Sustainable Development	6. 最初と最後の頁 81-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka,R., Rogel,M.	4. 巻
2. 論文標題 Traditional and Local Knowledge for Sustainable Development: Empowering the Indigenous and Local Communities of the World, Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals, Partnerships for the Goals.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Book Encyclopedia Chapter Springer Nature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tashiro,A., Kohsaka,R.	4. 巻 -
2. 論文標題 Universal Health Coverage: Healthcare system for Universal Health Coverage under Partnerships, Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals, Partnerships for the Goals.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Book Encyclopedia Chapter Springer Nature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka, R., Uchiyama, Y.	4. 巻
2. 論文標題 Geographical Indications and Regional Trade Agreements: Facilitating International Partnerships for Sustainable Development, Encyclopedia of the UN Sustainable Development Goals, Partnerships for the Goals.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Book Encyclopedia Chapter Springer Nature	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲	4. 巻 84(11)
2. 論文標題 商標・地理的表示の保護の活用による産地ブランドの確立	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 50-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka,R., Roger, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Place branding and use of geographical indications for rural community development in agriculture and forestry: Cases in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of International Forum on Education for Rural Transformation (IFERT)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 香坂玲, 梶間周一郎, 田代藍, 内山愉太	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 農林業分野における地理的表示の分析：産品の時間・空間的多層性と制度の関係性に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本知財学会誌	6. 最初と最後の頁 4-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kohsaka,R., Kajima,S., Tashiro,A., Uchiyama,Y., Park,MS.	4. 巻 -
2. 論文標題 Analysis of Geographical Indications in agriculture and forestry: Focusing on the spatio-temporal multilayer of local products	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2018 Circular Economy Conference	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 徳山美津恵, 長尾雅信	4. 巻 33
2. 論文標題 日本版DMOに関する考察ープレイス・ブランディングの視点から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 第33回日本観光研究学会全国大会学術論文集	6. 最初と最後の頁 69-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 風聡一郎, 梶間周一郎, 内山愉太, 香坂玲	4. 巻 99(1)
2. 論文標題 温浴施設での薪ボイラー導入における運用実態 木質バイオマスの小規模熱利用が地域に与える影響とは	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本森林学会誌	6. 最初と最後の頁 18-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4005/jjfs.99.18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama	4. 巻 198
2. 論文標題 Spatio-temporal analysis of biodiversity, land-use mix and human population in a socio-ecological production landscape: A case study in the Hokuriku region	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Urban Transitions Global Summit 2016 Procedia Engineering	6. 最初と最後の頁 219-226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.proeng.2017.07.086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama	4. 巻 198
2. 論文標題 Motivation, strategy and challenges of conserving urban biodiversity in local contexts: Cases of 12 municipalities in Ishikawa	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Urban Transitions Global Summit 2016 Procedia Engineering	6. 最初と最後の頁 212-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.proeng.2017.07.085	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R. Kohsaka, S. M. Park, Y. Uchiyama	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Beekeeping and honey production in Japan and South Korea: Past and Present	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 72-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 J. Sato, R. Kohsaka	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Japanese sake and evolution of technology: A comparative view with wine and its implications for regional branding and tourism	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 88-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R. Kohsaka	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 The myth of washoku: a twisted discourse on the "uniqueness" of national food heritages	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 66-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Uchiyama, Y. Tanaka, H. Matsuoka, R. Kohsaka	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Expectations of residents and tourists of agriculture-related certification systems: Analysis of public perceptions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Uchiyama, H. Matsuoka, R. Kohsaka	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Public recognition of traditional vegetables at the municipal level: Implications for transgenerational knowledge transmission	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 94-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 K. Gugerell, Y. Uchiyama, R. P. Kieninger, M. Penker, S. Kajima, R. Kohsaka	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Do historical production practices and culinary heritages really matter? Food with protected geographical indications in Japan and Austria	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 118-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Kajima, Y. Tanaka, Y. Uchiyama	4. 巻 4(2)
2. 論文標題 Japanese sake and tea as place-based products: a comparison of regional certifications of globally important agricultural heritage systems, geopark, biosphere reserves, and geographical indication at product level certification	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Ethnic Foods	6. 最初と最後の頁 80-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jef.2017.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 T. Kizos, R. Kohsaka, M. Penker, C. Piatti, C.R.Vogl, Y. Uchiyama	4. 巻 119(12)
2. 論文標題 The governance of geographical indications: experiences of practical implementation of selected case studies in Austria, Italy, Greece and Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 British Food Journal	6. 最初と最後の頁 2863-2879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/BFJ-01-2017-0037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Plieninger, R. Kohsaka, C. Bieling, S. Hashimoto, C. Kamiyama, T. Kizos, M. Penker, P. Kieninger, B. J. Shaw, B. G. Sioen, Y. Yoshida, O. Saito	4. 巻 13
2. 論文標題 Fostering biocultural diversity in landscapes through place-based food networks: a “solution scan” of European and Japanese models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sustainability Science	6. 最初と最後の頁 219-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-017-0455-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 香坂玲・内山愉太	4. 巻 81(4)
2. 論文標題 都市生物多様性指標の国際的動向～世界の都市は指標をどう活用しているか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 336-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Ehara, K. Hyakumura, R. Sato, K. Kurosawa, K. Araya, H. Sokh, R. Kohsaka	4. 巻 -
2. 論文標題 Addressing maladaptive coping strategies of local communities to changes in ecosystem service provisions using the DPSIR framework	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ecological Economics	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計115件（うち招待講演 31件／うち国際学会 46件）

1. 発表者名 岸岡智也、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 自治体独自の森林環境税が獣害対策としての里山林整備にもたらす影響
3. 学会等名 第133回日本森林学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性に関する国際プロセス：昆明COP15とランドスケープ・アプローチ
3. 学会等名 第 133 回日本森林学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 香坂玲、中川善典、内山愉太、神山智美、山本一清、大口篤志、高取千佳、東善朗、森山雅雄、藤木庄五郎、坂田宏志、川口暢子、三宅良尚
2. 発表標題 フューチャー・デザインワークショップ：松阪市飯高町での経験から
3. 学会等名 フューチャー・デザイン2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 香坂玲、高取千佳、神山智美
2. 発表標題 農林業生産と環境保全を両立する政策の推進に向けた合意形成手法の開発と実践
3. 学会等名 SDG'sサイエンスカフェ 科学者と地域課題への挑戦 ～多様な市民と協働型での解決をめざして～
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 香坂玲、三宅良尚
2. 発表標題 Geographic Indications and application of Convention Theory to non-timber forestry products in Japan
3. 学会等名 Food Commons in Europe and Beyond (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、小林 邦彦
2. 発表標題 生物多様性をめぐる国際動向：国際条約、規格・産業、科学政策対話の議論から
3. 学会等名 日本知財学会第19回年次学術研究発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、伊藤浩二、三宅良尚、内山愉太
2. 発表標題 Cultural ecosystem services from the afforestation of rice terraces and farmland: Emerging services as an alternative to monoculturalization
3. 学会等名 Historical Landscape Ecology-Challenges for the Twenty-First Century' (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性と共生する有機農業：世界の動向と生産の現場から
3. 学会等名 有機農業のいまとこれから 持続可能な社会への貢献 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、Jay Mar D. Quevedo、Kevin Muhamad Lukman、内山愉太
2. 発表標題 Socio-ecological applications for mangrove management at national and local levels
3. 学会等名 Mangrove Monitoring Int. Training RTRC MarBEST AIS Forum 2021 by BRIN (National Research and Innovation Agency) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松沢友紀、香坂玲
2. 発表標題 Ecosystem Services and Trade-offs of Urban Beekeeping: A Global Review
3. 学会等名 Third Asia-Pacific Urban Forestry Meeting (APUFM) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 Green infrastructure management during the COVID-19 pandemic: local perception and expectation on urban forest
3. 学会等名 Third Asia-Pacific Urban Forestry Meeting (APUFM) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、三宅良尚、内山愉太、Jinlong Liu
2. 発表標題 Sustainable forest management and NTFPs in the era of transition under climate change: traditional knowledge, cultural heritage, and Geographical Indication
3. 学会等名 IUFRO World Day : Digital Forest Science Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木裕也、香坂玲
2. 発表標題 都道府県における森林の多面的機能の経済評価の歴史的展開：日本学術会議答申・林野庁による公益的機能の経済評価の影響分析
3. 学会等名 環境経済・政策学会2021年大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、内山愉太
2. 発表標題 Access to urban forest lands during the COVID-19 pandemic: influence of environmental factors and reexploring values and functions of forest
3. 学会等名 20th Commonwealth Forestry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、内山愉太
2. 発表標題 Impacts of forest environmental tax and multi-level collaboration: toward sustainable forest management scheme in Japan
3. 学会等名 20th Commonwealth Forestry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三宅良尚、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 Economic and environmental prospect of NTFP GIs in Japan: Empirical analysis of Joboji Urushi
3. 学会等名 20th Commonwealth Forestry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 文理融合プロジェクトの課題と可能性 陸域と海域のプロジェクトから
3. 学会等名 俯瞰ワークショップ 第1回 文理融合研究のあり方とその推進方策 ~持続可能な資源管理に関する研究開発領域を例として~ (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 政策支援及び第2期作業計画に関する専門家所見
3. 学会等名 地球環境戦略研究機関 生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）総会第8回会合結果報告会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 エビデンスに基づく政策と土地利用管理
3. 学会等名 JST・RISTEXプロジェクトのセミナー：エビデンスに基づく農地・森林の管理
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三宅良尚
2. 発表標題 土地利用管理に向けた資源管理手法としての地理的表示と伊勢茶
3. 学会等名 JST・RISTEXプロジェクトのセミナー：エビデンスに基づく農地・森林の管理
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内山愉太
2. 発表標題 合意形成マッピングシステム整備の概要・進捗
3. 学会等名 JST・RISTEXプロジェクトのセミナー：エビデンスに基づく農地・森林の管理
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 独壇における重層的なネットワーク化による有機農業振興戦略
3. 学会等名 出版記念セミナー 有機農業政策で変わる食と暮らし-EUと我が国における政策、戦略の動向
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内山愉太
2. 発表標題 我が国の都市における有機農業振興の戦略
3. 学会等名 出版記念セミナー 有機農業政策で変わる食と暮らし-EUと我が国における政策、戦略の動向
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三宅良尚
2. 発表標題 我が国の有機農業への参入条件と政策への示唆
3. 学会等名 出版記念セミナー 有機農業政策で変わる食と暮らし-EUと我が国における政策、戦略の動向
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲、内山愉太
2. 発表標題 醸造・発酵と観光資源としての活用
3. 学会等名 生態系サービス、テロワール、お酒について語らうタベ：地理的表示の保護制度、保全・継承に向けて
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三宅良尚
2. 発表標題 有機の酒米を活用した取り組み
3. 学会等名 生態系サービス、テロワール、お酒について語らうタベ：地理的表示の保護制度、保全・継承に向けて
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 森林環境譲与税を活用した都道府県による 市町村支援の概況と課題
3. 学会等名 第132回日本森林学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 愛知・名古屋から考える農林業のテロワール・土地利用
3. 学会等名 環境共生・環境創造 講演会 環境創造研究センター（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性SDGs と私たち ~10年をふりかえり、SDGs 達成、自然共生社会の構築へ
3. 学会等名 経団連自然保護協議会 生物多様性民間参画パートナーシップ 第9回会員会合企画（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太, 三宅良尚
2. 発表標題 里山・有機農業がもたらす生物多様性
3. 学会等名 なごや環境大学 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 プロジェクト紹介 農林業生産と環境保全を両立する政策の推進に向けた合意形成 手法の開発と実践
3. 学会等名 名古屋大学フューチャー・アース研究センター ウェビナー2020 森と地域を舞台に、フューチャー・アース (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太, 鈴木睦昭
2. 発表標題 生物多様性条約の伝統的知識を巡る概況
3. 学会等名 日本学術大会 第18回年次学術研究発表会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 生物多様性、遺伝資源の保全と伝統的知識の保護・継承 の国内外の動向
3. 学会等名 日本学術大会 第18回年次学術研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Status and Trends of Green Infrastructure
3. 学会等名 グリーンインフラ・都市農業国際ワークショップ（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 三宅良尚
2. 発表標題 循環型農林水産景観としいたけ栽培の長期的な変遷と価値の（再）発見 気候変動時代の低温品種の戦略
3. 学会等名 循環型農林水産景観の動的継承に向けて：しいたけ栽培の価値の活用についての熟議型ワークショップ 大分県・国東市
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内山愉太, 香坂 玲
2. 発表標題 グリーンインフラとコロナ禍での行動変容
3. 学会等名 第3回研究連携オンラインセミナー 名古屋大学大学院 環境学研究科 減災連携研究センター（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Yoshitaka Miyake, Yoshiaki Nishikawa, Kazuo Watanabe
2. 発表標題 Transmission of traditional knowledge as multi-scale commons with geographical boundaries: Use of geographical indications and application of convention theory
3. 学会等名 IASC-RIHN ONLINE WORKSHOP ON COMMONS, POST-DEVELOPMENT AND DEGROWTH IN ASIA
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshitaka Miyake, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka
2. 発表標題 The comparative analysis of the expansion of organic agriculture and the preservation of commons in Japan and Europe through convention theory
3. 学会等名 IASC-RIHN ONLINE WORKSHOP ON COMMONS, POST-DEVELOPMENT AND DEGROWTH IN ASIA
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性保全の国際動向と環境教育への示唆：伝統野菜による教育実践の枠組みの考察から
3. 学会等名 日本環境教育学会 関東支部総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 趣旨説明 企画セッション S4 森林環境譲与税と森林経営管理制度
3. 学会等名 第131回日本森林学会大会（新型コロナウイルス予防のため中止）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 森林環境譲与税の活用の方向性に関する試論：47都道府県を対象として
3. 学会等名 第131回日本森林学会大会（新型コロナウイルス予防のため中止）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内山愉太, 香坂玲
2. 発表標題 森林環境譲与税を活用した都市・農山村連携の萌芽：秩父市と豊島区の事例
3. 学会等名 第131回日本森林学会大会（新型コロナウイルス予防のため中止）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kohsaka, R., Miyake Y., Uchiyama Y,
2. 発表標題 Facilitating rural development and sustainability with GI: From tradition, to environment with products, to place-based GIAHS registration
3. 学会等名 From local to global, the challenge of Geographical Indications: International and Japanese perspectives（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 グローバル行政ネットワークと科学と政策の対話に向けた課題：IPBES・生物多様性条約の現場から
3. 学会等名 グローバル行政ネットワークと国際機関：地球と共生するためのガバナンスの在り方を模索して（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 2020年 愛知・なごや から考える生物多様性の未来：生物多様性条約とIPBESに関わる最新の動向から
3. 学会等名 2019年度環境カウンセラー研修（中部地区）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 徳山美津恵・長尾雅信
2. 発表標題 持続可能なツーリズムにおけるブレイス・ブランディングの役割：ハワイの観光産業の事例から
3. 学会等名 サービス学会 第8回 国内大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 現場から考えるIPBES：欧州と日本にみる社会変革の萌芽
3. 学会等名 自然共生社会の実現に向けた社会変革 IPBES地球規模評価を踏まえて次期生物多様性世界目標を考える（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Future Earth 自然資本KAN・IPBES・生物多様性条約の動向から
3. 学会等名 Future Earth 日本サミット 生物多様性分科会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 知財としての自然資本・生物多様性：社会制度の最前線 趣旨説明
3. 学会等名 日本知財学会 第17回年次学術研究発表会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 森林環境譲与税による市町村支援の方向性: 都道府県の動向の概説と都市・農山村連携の萌芽
3. 学会等名 林業経済学会2019年秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 セッション趣旨説明 森林環境税と森林環境譲与税
3. 学会等名 林業経済学会2019年秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Where is Japanese forest policy going? Forest environment transfer tax scheme and management changes
3. 学会等名 公開セミナー ヨーロッパ森林研究所 (EFI) ボン大学 開発研究センター (ZEF) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Sharing traditional knowledge of ethnic foods with Geographical Indications; Cases of vegetables and bee keeping
3. 学会等名 2019 JEF International Symposium -Sustainability of Ethnic Foods and Beyond (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Cross-sector Initiatives: Cases from Geographical Indications
3. 学会等名 Science-Policy Dialogues on the Assessment of Biodiversity and Ecosystem services: Southeast Asia & Northeast Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Spiritual Values of deadwood in different times and cultures (Europe and Asia): Profane or sacred?
3. 学会等名 Learning Lab. Spurring INnovations for forest eCOsystem sERvices in Europe (SINCERE) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性に関わる最新の動向と我が国への示唆：IPBESと生物多様性条約の動向
3. 学会等名 エコイノベーションとエコビジネス(SPEED)に関する研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Kaoru Kakinuma, Jay Mar, D. Quevedo, Kevin Muhamad Lukman
2. 発表標題 Application of REDD+ scheme for Blue Carbon Ecosystem Management: Potentials and Challenges
3. 学会等名 XXV IUFRO World Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 The Link among Biodiversity, Traditional Knowledge, and Intellectual Property Education: Activities with Traditional Vegetables and Native Varieties toward COP15 Kunming
3. 学会等名 Chinese Academy of Sciences. Xishuangbanna Tropical Botanical Garden (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KOHSAKA Ryo, UCHIYAMA Yuta
2. 発表標題 Transmission of traditional knowledge for production of non-timber forest products: explicit knowledge and Geographical Indication
3. 学会等名 Transforming Approaches to Forests & Forestry through Traditional and Local Knowledges (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 QUEVEDO M Jay, UCHIYAMA Yuta, KOHSAKA Ryo
2. 発表標題 Mangrove Forests & Coastal Residents: Understanding the Management and Local Threats in the Municipalities of Eastern Samar and Aklan, Philippines
3. 学会等名 Transforming Approaches to Forests & Forestry through Traditional and Local Knowledges (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 日本の森林政策の動向： 森林経営管理法と森林環境譲与税
3. 学会等名 韓国 国立森林科学研究所セミナー (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 知財教育における産品認証制度の活用：題材としての伝統野菜・地理的表示保護制度の産品による地域観光戦略
3. 学会等名 日本教育学会 第78回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Kaoru Kakinuma, Jay Mar, D. Quevedo, Kevin Muhamad Lukman, Dheanara Pinka
2. 発表標題 Evaluating the Current Issues and Challenges on Blue Carbon Ecosystems from Social Science and Policy Perspectives
3. 学会等名 5th Mangrove and Macrobenthos Meeting (MMM5) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jay Mar Quevedo, Kaoru Kakinuma, Yuta Uchiyama, Ryo Kohsaka
2. 発表標題 Blue carbon local governance in the Philippines: Analysis of the mangrove management plans in municipal level
3. 学会等名 5th Mangrove and Macrobenthos Meeting (MMM5) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kevin Muhamad Lukman, Ryo Kohsaka, Yuta Uchiyama, Kaoru Kakinuma
2. 発表標題 Local Policies and Activities for Mangrove Conservation in Indonesia: Suggestion for Sustainable Aquaculture
3. 学会等名 5th Mangrove and Macrobenthos Meeting (MMM5) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 Transformative changes and forest transition, restoration and ecosystem services and NCPs: Experience from IPBES and CBD processes
3. 学会等名 アジア太平洋林業ウィーク APFW 2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 愛知目標・SDGsの指標の功罪 -生物多様性条約の議論を中心に-
3. 学会等名 東海地域から発信するフューチャー・アース (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jay Mar Quevedo, 香坂玲, 内山愉太
2. 発表標題 Ecosystems services of Mangrove Ecosystems from local perspectives: utilization and awareness in the municipalities of Aklan and Eastern Samar, Philippines
3. 学会等名 熱帯生態学会 第29回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 生物多様性・生態系サービスの最前線：価値をどう見える化するのか
3. 学会等名 第5回名古屋大学の卓越・先端・次世代研究 シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂 玲, 内山愉太
2. 発表標題 愛知目標・SDGsにおける指標間の関係性と民間参画推進に向けた科学・政策対話、学術研究の総合的解析
3. 学会等名 環境経営学会第19回定期総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jay Mar Quevedo, 香坂 玲, 内山愉太
2. 発表標題 Perceptions of coastal communities on blue carbon ecosystems services at the municipalities of Eastern Samar and Western Visayas, Philippines
3. 学会等名 Japan Geoscience Union Meeting
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲、梶間周一郎、内山愉太
2. 発表標題 林産品と地理的表示の保護制度：国際情勢と岩手県の切炭を事例として
3. 学会等名 第130回日本森林学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶間周一郎、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 自治体林政の政策波及：森林環境税と森林づくり条例を事例に
3. 学会等名 第130回日本森林学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柿沼薫、内山愉太、梶間周一郎、香坂玲
2. 発表標題 極端な気象現象による人々の移動：アジアにおける比較
3. 学会等名 日本生態学会第66回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue, S., Ito, N., Uchiyama, Y. and Kohsaka, R.
2. 発表標題 Sustainable Development Utilizing Local Agricultural Resources: Network Analysis among Social Organizations in Tsuruoka, Noto and Aso Area in Japan
3. 学会等名 2019 Annual Conference of Agricultural Economics Society of Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rogel M., Montemayor G., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Citizen Science for Forest Biodiversity Conservation: What Shapes Intention to Participate?
3. 学会等名 2019 Citizen Science Association Conference
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rogel M., Montemayor G., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Human-Nature Perspectives and Intention to Participate: Engaging Forest Dwellers in Citizen Science for Biodiversity Conservation
3. 学会等名 15th International Conference on Environmental, Cultural, Economic & Social Sustainability
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 香坂玲、松岡光、内山愉太
2. 発表標題 遺伝資源をめぐる利益配分に関する国際的な研究動向と論文ネットワークの考察：遺伝資源、遺伝子情報の持続可能な活用に向けて
3. 学会等名 日本知財学会第16年次学術研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山愉太、藤平祥孝、香坂玲
2. 発表標題 バイオメティクスに関する国際的な特許出願動向に対する企業関係者の認識と技術開発への関わりに関する考察
3. 学会等名 日本知財学会第16年次学術研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶間周一郎、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 農林水産品の知的財産保護政策の政策過程：アジアにおける地理的表示政策を題材に
3. 学会等名 日本知財学会第16年次学術研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香坂玲、内山愉太、藤平祥孝
2. 発表標題 三つの技術報告書の発刊へ ISO/TC266バイオメティクスWG4報告
3. 学会等名 バイオメティクスの国際標準化と海外研究動向 18-3 バイオメティクス研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka R., Tashiro A., Uchiyama Y.
2. 発表標題 Municipal urban biodiversity managements with participation of citizens and collaboration of multiple sectors: Challenges and potentials
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama Y., Tashiro A., Kohsaka R.
2. 発表標題 Sustainable managements of green and blue infrastructures in urban areas with rapid aging: Citizens' attitudes toward their neighbouring environment
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tashiro A., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Residents' preferable option for Green infrastructure: A case study of disaster-stricken urban areas, Japan
3. 学会等名 Urban Transitions 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lukman, K. M., Kajima S., Kakinuma K., Uchiyama Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Comparative Analysis of Indonesia's Mangrove Policy at National and Regional Level -An Experience from BlueCARES Project for Governance of Blue Carbon Ecosystem
3. 学会等名 林業経済学会2018年秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶間周一郎、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 自治体の森林環境税の導入動態-階層的クラスター分析を用いたアプローチ-
3. 学会等名 林業経済学会2018年秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka, R., Uchiyama, Y.
2. 発表標題 Non-market food provisioning services via communal sharing and use of Geographical Indications in satoyama socio-ecological production landscapes on Japan's Noto peninsula
3. 学会等名 World Social Science Forum (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka R., Kajima, S., Uchiyama, Y.
2. 発表標題 Citizen science and science-policy interface: Towards sustainable forest managements
3. 学会等名 10th International Conference on Ecological Informatics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上荘太郎、伊藤紀子、高橋克也、市川容子、内山愉太、香坂玲
2. 発表標題 地域振興における多様な組織の連携構造-鶴岡市における社会ネットワーク分析
3. 学会等名 日本農業経営学会2018年研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香坂玲
2. 発表標題 伝統野菜・養蜂を活用した教育実践の試み日中韓における異文化と遺伝資源、知的財産の理解に向けて
3. 学会等名 日本教育学会 第77回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香坂 玲(報告者) 世良 清(企画者)
2. 発表標題 知的財産の教育研究を構築するために -普通教育での知財の学習を考える
3. 学会等名 日本教育学会 第77回大会 知財教育ラウンドテーブル
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama, Y., Kohsaka, R.
2. 発表標題 How Does Accessibility Affect the Perceived Values by Visitors of Tourism Resources? Quantitative Analysis of Academic Literature of MAB and GIAHS
3. 学会等名 COMSA 2018: The 5th Conference on Management and Sustainability in Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内山愉太、梶間周一郎、香坂玲、小柴有理江、井上荘太郎、伊藤紀子、浅井真康
2. 発表標題 持続可能な農村地域メンジメントに資する社会組織のネットワーク構造～能登の世界農業遺産認定地域を対象として～
3. 学会等名 2018年度日本フードシステム学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kajima, S., Tashiro, A., Uchiyama, Y., Kohsaka, R.
2. 発表標題 Diffusion of Forest Policy towards Sustainable Use and Governance of Natural Resources: Event History Analysis of Regional Forest Policy in Japan
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tashiro, A., Uchiyama, Y., Kohsaka, R.
2. 発表標題 Marine Circular Economy towards Community-Based Post-Disaster Reconstruction: Experience of a Small Coastal Town, Northeast Japan
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama, Y., Tashiro, A., Kajima, S., Kohsaka, R.
2. 発表標題 REDD+ for Blue Carbon Ecosystems: A Literature Review
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka, R., Kajima, S., Tashiro, A., Uchiyama, Y., Park, M. S.
2. 発表標題 The Political Ecology of Regional Names on Agricultural Products; Governing Boundaries and Qualities through Geographical Indications
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohsaka, R.
2. 発表標題 Transition to a Cycle-Oriented Society in Japanese Agriculture and Knowledge System: From Traditional Knowledge in Satoyama, Geographical Indications and Agriculture 4.0
3. 学会等名 2018 Circular Economy for Agri-Food Resource Management (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久慈淳一郎、香坂玲、内山愉太、松岡光
2. 発表標題 日本企業の環境負荷軽減に対する取り組みの経年変化の考察にむけた先行研究レビュー～統合報告書に着目した方法論に関する一考察～
3. 学会等名 2018年度環境経営学会研究報告大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Lukman, K. M., Uchiyama Y., Kohsaka R
2. 発表標題 Community Based Management of Mngrove Ecosystem in Java Island
3. 学会等名 日本評価学会春季第15回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 市川智子、内山愉太、田代藍、香坂玲
2. 発表標題 Trends Academic discourse of environmental ODA: Quantitative Approaches in review research
3. 学会等名 日本評価学会春季第15回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uchiyama, Y., Kohsaka R.
2. 発表標題 Why urban biodiversity matters? The motivations for cities to develop conservation and education programs
3. 学会等名 The 8th EAFES International Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Imai, H., Kohsaka R., Nakashizuka, T.
2. 発表標題 Citizen science data as an approach for study of connection with nature: Trends of 15 years in observation frequency for 12 species by students and adults in Sendai
3. 学会等名 The 8th EAFES International Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 徳山美津恵、長尾雅信
2. 発表標題 日本版DMOに関する考察ープレイス・ブランディングの視点から
3. 学会等名 第33回日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Y. Uchiyama, R. Kohsaka
2. 発表標題 How much are biodiversity mainstreamed in urban municipalities? Status of mainstreaming efforts with urban biodiversity indicators in major Japanese cities
3. 学会等名 The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2 . 発表標題 Status of Apiculture and effects of ecological conditions in Japan: How knowledge of beekeeping is transmitted in inter-generational manner
3 . 学会等名 The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2 . 発表標題 Schemes of Benefit Sharing in alternative livelihood strategies: Potential of Geographical Indications of Non Timber Forest Products
3 . 学会等名 International Union of Forest Research Organizations 125th Anniversary Congress (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2 . 発表標題 Spatial analysis of forest environmental tax as a scheme of Payment for Ecosystem Service: Suggestions to the REDD+
3 . 学会等名 International Union of Forest Research Organizations 125th Anniversary Congress (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Y. Uchiyama, R. Kohsaka
2 . 発表標題 Analysis on accessibility of urban forest: Towards enhancement of well-being in urban regions
3 . 学会等名 The 3rd International Conference on Landscape and Human Health: Forests, Parks and Green Care (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama
2. 発表標題 Local strategies on conservation of urban biodiversity: Relationships between the conservation and sustainable urban forest management for quality of life
3. 学会等名 The 3rd International Conference on Landscape and Human Health: Forests, Parks and Green Care (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 香坂玲, 梶間周一郎, 内山愉太
2. 発表標題 なぜ人工林は管理されていないのか: 地籍制度と超高齢化社会
3. 学会等名 第129回日本森林学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka, Y. Uchiyama, A. Tashiro, M. S. Park
2. 発表標題 Sustainable Tourism Managements with Regional Designations Experience from Rural Areas in Japan
3. 学会等名 The 83rd TOSOK International Tourism Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka
2. 発表標題 Place branding and use of geographical indications for rural community development in agriculture and forestry: Experience from Japan and its implications for ASEANS.
3. 学会等名 International Forum on Education for Rural Transformation (IFERT) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka
2. 発表標題 Washoku and Traditional Vegetables' Socio-Ecological Aspects and Roles for Sustainable Development.
3. 学会等名 Sikchi Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 R. Kohsaka
2. 発表標題 Bee honey production and ecological knowledge: Knowledge transmission for sustainable NTFP production.
3. 学会等名 the 10th International Conference on Traditional Forest Knowledge and Culture in Asia, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 香坂玲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 創成社	5. 総ページ数 336
3. 書名 イノベーションの未来予想図 専門家40名が提案する20年後の社会 12章 科学技術・イノベーション政策と合意形成のための総合知：そもそも社会はバージョンアップするのか	

1. 著者名 香坂玲, 石井 圭一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 64
3. 書名 有機農業で変わる食と暮らし ヨーロッパの現場から	

1. 著者名 内山愉太, 香坂玲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 シーエムシー出版	5. 総ページ数 367
3. 書名 バイオメティクス・エコメティクス 持続可能な循環型社会へ導く技術革新のヒント 第5章 生物多様性とバイオメティクス	

1. 著者名 香坂 玲, 梶間周一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版株式会社	5. 総ページ数 694
3. 書名 森林学の百科事典 担当箇所：企業の森林 CSR/CSV	

1. 著者名 香坂玲 (担当:編集, 範囲:編集 はじめにー縮小と豊かさの萌芽, 第6章 地域資源・産品の知識から考える縮小とその共有化と継承への課題)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 264
3. 書名 縮小する日本社会	

1. 著者名 徳山美津恵 (第5章 農業を起点とするプレイス・ブランディングの可能性ー丹波市のブランド資産とブランド構造に関する検討)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 264
3. 書名 縮小する日本社会	

1. 著者名 内山愉太 (第2章 人口減少期の国土計画 ストーリーからデータへ)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 264
3. 書名 縮小する日本社会	

1. 著者名 Karki, M., Senaratna Sellamuttu, S., Okayasu, S., Suzuki, W., Acosta, L.A., Alhafedh, Y., Anticamara, J.A., Ausseil, A.G., Davies, K., Gasparatos, A., Gundimeda, H., Faridah-Hanum, I., Kohsaka, R. et al.(eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 IPBES secretariat, UN Campus	5. 総ページ数 44
3. 書名 Summary for policymakers of the regional assessment report on biodiversity and ecosystem services for Asia and the Pacific of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services	

1. 著者名 Fujihira, Y., Uchiyama, Y., Kohsaka, R.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 PAN STANFORD PUBLISHING	5. 総ページ数 34
3. 書名 Trends and Characteristics of Biomimetic Technology : Towards Social Implementation, In Lifestyle and Nature: Integrating Nature Technology to Sustainable Lifestyles	

1. 著者名 若林宏保, 徳山美津恵, 長尾雅信	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 316
3. 書名 プレイス・ブランディング: "地域" から "場所" のブランディングへ	

〔産業財産権〕

〔その他〕

香坂玲研究室
http://kohsaka-lab.jp/

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	内山 榆太 (Uchiyama Yuta) (00710766)	神戸大学・人間発達環境学研究科・助教 (14501)	
研究分担者	徳山 美津恵 (Tokuyama Mitsue) (80363951)	関西大学・総合情報学部・教授 (34416)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会	開催年
国際ウェビナー-ブルー・グリーンインフラのフロンティア：生態系サービス、管理と課題	2021年～2021年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------